

新型コロナウイルス感染症患者（14例目）の発生について（第1報）

令和2年4月9日（木）、広島市内の医療機関から、新型コロナウイルス感染症を疑う患者が受診している旨の連絡があり、本市衛生研究所で検査を実施したところ、同日、陽性であることが確認された。

1 患者概要

- (1) 年代：20歳代
- (2) 性別：男性
- (3) 居住地：広島市
- (4) 職業等：大学生（広島市立大学）
- (5) 症状：発熱、頭痛、倦怠感、呼吸困難感、味覚障害
(現在、症状は安定している。)

2 検査に至った経緯

- 4月 1日（水） 38℃の発熱
- 4月 2日（木） 解熱。頭痛、倦怠感、呼吸困難感出現
- 4月 3日（金）～5日（日） 頭痛、倦怠感、呼吸困難感が継続
- 4月 6日（月） 前日までの症状に加え、味覚障害が出現
- 4月 9日（木） A医療機関を受診。医師が新型コロナウイルス感染症を疑い、保健センターへ連絡
保健センターが帰国者・接触者外来へ誘導し受診の上、検体採取
PCR検査の結果、新型コロナウイルス陽性と判明
- 4月10日（金） 感染症指定医療機関に入院（体温 35.8℃）

※本人からの申告によれば、発症前14日以内に渡航歴はなかった。

3 濃厚接触者の状況

(1) 広島市立大学の友人

患者と接触のあった同大学の友人6名について、濃厚接触者と判断した。今後、衛生研究所によるPCR検査を実施する予定である。（後日、検査結果を情報提供予定）

また、保健センターからは、この6名について、それぞれ患者との最終接触日が異なることから、2名については4月12日まで、1名については4月18日まで、3名については4月21日まで健康観察を実施するとともに、不要不急の外出の自粛を要請した。

(2) その他

患者と接触のあったその他1名について、濃厚接触者と判断した。今後、衛生研究所によるPCR検査を実施する予定である。(後日、検査結果を情報提供予定)

また、保健センターからは、4月21日まで、健康観察を実施するとともに、不要不急の外出の自粛を要請した。

4 今後の対応

- ・現在までに確認できた患者の行動歴をもとに、濃厚接触者あるいはその可能性のある者に対し、患者との接触状況や健康状態についての把握など、逐次、積極的疫学調査を実施しているところである。
- ・更に患者の詳細な行動歴の確認を行った上で積極的疫学調査を行い、その結果をもとに、当該濃厚接触者に対する、健康観察(毎日の体温確認等)と、必要に応じてPCR検査を適切に実施することとしている。
- ・この調査により把握した感染拡大防止のために必要な情報は、速やかに市民に広く提供することとしている。